

味酒地区タウンミーティング

平成24年11月8日（木曜）

【市長】 皆さんこんばんは、今日は平日の夜間でございます。お仕事でお疲れの方もいらっしゃると思いますが、このように多くの方が集まっておりましたありがとうございます。タウンミーティングの開催に当たりましては、味酒地区広報委員会の美馬会長さんをはじめ、役員の皆様のご協力をいただきました、本当にありがとうございます。さて、このタウンミーティングは私が就任してから始めさせていただきました。どっちが楽かという話をいたしますと、職員は市役所で皆さんがお越しになるのを待ってたほうが楽だと思います。そうではなくて、我々のほうから各地区に出向いていこう、そして、各地区で課題とか問題点、その声を聞かせていただくということで始めさせていただきました。タウンミーティングでは、各地区の魅力について教えていただいております。なぜ、魅力からかといいますと、松山市は、北条、中島含めまして全部で41地区に分かれます。それぞれに歴史があって特徴があります。その各地区のよさを一番誰が知っているかという、行政でしょうか、地区にお住まいの皆さんでしょうか、やはり、地区にお住まいの皆さんが一番知っていると思います。各地区ならではの魅力を活かしたまちづくりをすれば、その地区はより輝くということが言えると思います。逆に行政が主体になってまちづくりをしてしまったら、どこも同じような金太郎あめのような地区が41できてしまう、その41の集合体である松山市は本当につまらないまちになってしまうと思います。各地区の魅力を皆さんで再認識していただいて、その魅力を活かしたまちづくりをしていくと、その41の集合体である松山市はより輝くということが言えると思います。そして、各地区のお困りの点とか、課題についてお聞かせいただくわけですが、この松山市のタウンミーティングは、いわゆるガス抜きではありません。この場でお答えできることは必ずお答えいたします。中にはこの場でお答えできないものもあります。例えば財政的な問題があるものとか、国と絡むもの、県と絡むもの、こういうものはいったん持ち帰らせていただいて、国に問い合わせる、県に問い合わせる、国や県から答えが返ってくる、松山市と方針を決めて地区にお返しすることになりますので、大体1カ月くらいかかってしまいますのですが、1カ月をめぐりに、

持ち帰らせていただいた事柄については必ず地区にお答えを返すことにしております。聞きっぱなしにしない、やりっぱなしにしない、というのが松山版のタウンミーティングの特徴でございます。さて、私でお答えできることは私でお答えいたしますけれども、松山市の仕事というのは本当に幅広いものでございます。今日は各担当の部長、企画官、課長来ておりますので、自己紹介をいたします。

【市民部長】 皆さんこんばんは、市民部長の三好でございます。このタウンミーティングを統括しております。普段の仕事といたしましては、窓口における行政サービス、市民課、パスポートセンター、消費生活センター、22支所7出張所、こういったところで市民に行政サービスを提供させていただいております。そのほか、住民主体の地域におけるまちづくり、人権啓発、男女共同参画こういった市民生活に密接な仕事をさせていただいております。今日はよろしく願いいたします。

【保健福祉政策課長】 皆さんこんばんは、保健福祉政策課の津野と申します。国民年金、介護保険、高齢福祉に関すること、保健所に関することなどを担当させていただいております。本日はよろしく願いいたします。

【都市政策課長】 皆さんこんばんは、都市政策課の白石と申します。都市整備部では道路、公園などの整備及び維持管理を担当しております。本日はどうぞよろしく願いいたします。

【松山駅周辺整備課長】 皆さんこんばんは、松山駅周辺整備課の松本です。当課は松山駅周辺の整備事業ということで、松山市が施行しております土地区画整理事業を中心に事業を進めております。本日はよろしく願いいたします。

【生涯学習政策課長】 皆さんこんばんは、生涯学習政策課長の前田と申します。教育委員会の取りまとめ、教育委員会では次代を担う青少年の健全育成、また、生涯学習の推進に取り組んでおります。今日はよろしく願いいたします。

【市長】 という今日は5名でございます。さて、タウンミーティングは大体90分させていただいてますけど、あまり敷居の高くない市長でございますので、ざっくばらんにさせていただいたらと思います。さすがに90分という時間、肩ひじ張っていると疲れてしまいますので、ざっくばらんな議論ができればと思っております。このタウンミーティング41地区中、今回が34地区目ということになります。お待たせをいたしましたというところです。このタウンミーティング、

あと1つだけ申し上げますと、市長の任期は4年ですので、4年で41地区を回ろうと思ってたんですが、私のモットーが「できるものはすぐにやる」、「スピード感を持った対応」ということで、このタウンミーティングで出た事柄、できることからすぐに生かしていくという姿勢です、おかげさまで好評ですので、ちょっと前倒ししまして2年2カ月で回りきるかなというペースで進めさせていただいております。今日はどうぞよろしく願いいたします。

【男性】 我がまち味酒地区ということで、昔は稲作地帯でありまして、良質な米と衣山の清らかな水からおいしい酒がつけられたということで、味酒という地名が生まれたといわれております。アンケートからいいますと、買い物に便利、交通の便がよい、安心できる住みよい地区である、自然に恵まれているという感じがしております。松山で最初に大衆娯楽施設、朝日座というのができたんだそうです。初めてエレベーターが備えられた大丸デパートがあったそうです。もちろん安くて新鮮で何でもそろそろ松山の台所、萱町商店街があります。学校は味酒小学校と愛光学園がございます。主な行事ですけど、成人式、地区防災訓練、敬老会、味酒夏祭り、地区体育祭、文化祭、宮前川清掃、これほどどこでもやられてるものです。味酒夏祭りは延べ約2,000人の参加を得まして開催いたしました。味酒地区の町内会61、世帯数11,284、町内会に加入されている世帯数が6,897、自主防災、消防分団、防犯相談所、交通安全協会等いろいろな組織で活動しております。公共交通ですけど、昔、伊予、道後、南予鉄道3者が競合してまして、三津口駅、今の萱町六丁目あたりですけど、乗客の争奪戦も繰り広げられたということもいわれております。今は伊予鉄の古町駅から市内、郊外両方とも利用できまして、JRの線路も地区内を走っており、西衣山付近では遊休地を挟んで平行に走っております。道路は南北に196号、松山港線、環状線の3本が通っております。東西には平和通りと旧三津街道がございます。秋祭りですけど、四角さん八角さんもちろん有名なんですけど、それに劣らず他も大みこしございまして、味酒地区の秋祭りを大いに盛り上げてコミュニティを図っております。神社仏閣は有名なところがあります。大法寺には墨竹画において神技と称された吉田^{そうたく}蔵澤の墓所があります。吉田蔵澤さんの墨竹画もぼちぼち手に入り始めてますんで、何かの機会にご披露したいと思います。円福寺には、松山藩主蒲生忠知の肖像や膳椀が所蔵されています。宝塔寺には河東碧梧桐と明治

維新に松山藩救済に尽力した三上^{ぜあん}是庵の墓所があります。阿沼美神社ですが、古くから古町の鎮守として松山の人々に崇敬を受けている場所でございます。大林寺は松平家の菩提寺ですけど、天守閣から阿弥陀様を拝めるようにと本堂が東向きに建てられたそうです。庚申庵は、寛政2年、栗田樗堂が建てた草庵ですけど、建物に限らず藤や泉水など風雅を求めた空間で、樹齢200年以上になると思うんですけど藤は今でも花を咲かせております。味酒の木に選定されております。松山総合公園ですが、子どもから高齢者まで楽しめまして、公園の頂上から松山市内一望できます。ここ数年来、夏場に涼みながら夜景が見れるように、閉園時間を延長してテストしていただいております。かなり好評らしいのでできるだけ続けていただきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

【市長】 網羅していただきました。御存じの方もいらっしゃると思いますが、私、小学校は萱町六丁目が住まいでしたので、30数年前はこのあたりを自転車で走りまわってた子なんでとても懐かしい場所です。タウンミーティング、今日で34地区目だと申し上げたんですけど、非常に味酒は恵まれてると思います。例えばJRが近くにならないところ松山市には当然あります。電車が近くにならないところ当然あります。バスがないところも当然あります。自転車でも便利です。坂のところだったら自転車での移動大変だと思いますので、歩くのも非常に便利がいいですよ。庶民の台所萱町商店街もある、味酒小学校マンモス校ですね。本当にうらやましがられるような、庚申庵もそうですし、閑静な住宅街というイメージもありますので、非常に松山市の中では恵まれた土地ではないかなと思います。庚申庵は覚えやすい1,800年につくられたものでございまして、まさに宝だと思いますので、いろいろな宝を味酒の方と一緒に磨いていければと思います。

【司会】 課題についてご意見をいただく前に、皆さんの関心の高いJR松山駅周辺整備の事業概要について説明させていただきます。

【松山駅周辺整備課長】 改めまして松山駅周辺整備課長の松本です。JR松山駅周辺整備事業の事業概要とスケジュール、関連事業についてご説明をさせていただきます。JR松山駅周辺整備事業につきましては、大きく2つの事業が柱になっております。1つは愛媛県が実施します鉄道高架事業、これが2.4キロございます。もう1つが松山市が実施するJR松山駅周辺16.7ヘクタールの土地区画整理事業になります。まず、鉄道高架事業ですが、範囲は西環状線とJR

が今交差してますけど、現在、道路が上を走ってJRが下です。これはそのまま変わりません。ということで、西環状線を過ぎてJR松山駅に向かう間にじわじわ線路が上がってきまして、美沢二丁目から南は伊予鉄の郡中線、空港通一丁目までで2.4キロございます。愛媛県内では今治駅が鉄道高架されております。四国の中では最近ではJR高知駅が整備されております。また、高松駅、これは鉄道高架ではないんですけど立派に整備されています。鉄道高架どういうふうにつくるかということですが、現在線はとめれませんので、現在線を走らせながら西側に鉄道の高架をつくります。その高架のさらに西側に6メートルの側道をつくります。高架ができたなら現在線を高架の東側の6メートルの側道にすることで、鉄道の高架ができたなら両側に6メートルずつの側道ができて味酒地区の方の生活道路にもなるということです。高架になって一番のメリットは踏切がなくなるということで、味酒踏切、萱踏切、朝美踏切、辻踏切、南江戸踏切全部なくなります。東西の交通がよくなるということです。次にJR松山駅周辺の土地区画整理事業、これは松山市が実施しておりますけれども、現在の東口の駅前広場ちょっと狭いです、ここを拡張します。西側にも西口の駅前広場をつくります。西側からもJRに乗れるようにします。東側と西側の駅前広場を囲む形で、30メートル4車線の両側に自転車道歩行者道を備えた4車線道路を整備するようにいたします。この事業のスケジュールですけど、平成20年度から県が鉄道高架事業、市が土地区画整理事業に着手しております。平成32年度の完成を目標に進めておりまして、今、平成24年度ですので、まだちょっと時間がかかるわけなんですけど、本日まで出席の皆さん元気で長生きをしていただいて、立派に生まれ変わったJR松山駅をぜひ見ていただきたいと思います。次に味酒地区に関連する事業ですけど、フジグラン松山、その西側に愛媛信用金庫がございますけれど、そこから西へ西環状線に結ぶ道路、本町宝塔寺線、道路幅員20メートルで2車線、両側に自歩道を設置して20メートル2車線道路を整備する計画をしております。実際の整備時期はまだ決まっております。県の鉄道高架事業の進捗に合わせて整備時期を検討することにしております。もう1つ、松山駅西口南江戸線、駅の西口広場と西環状線を結ぶ道路、松山駅西口南江戸線といいまして愛媛県が整備することになっております。道路幅員が34メートル、大手町通が全幅員が36メートルです、同じような道路が西環状線までできて4車線道路

をつくるということで、関連して路面電車ですけど、J R松山駅前の電停は地下道をくぐってからでないとならぬと路面電車乗れないということで非常にご不便をかけております。今回鉄道が高架化されますので、路面電車をJ R松山駅の高架下まで引き込んでまいります。J Rおりましたらすぐに路面電車乗れる。そして高架下をくぐって、駅西口南江戸線の道路の真ん中を歩いて西環状線まで、約700メートル路面電車を延伸する計画にしております。ということで駅の西地域の方が路面電車に乗って市民病院、市駅、大街道のほうへ便利に行けるという計画にしております。以上で説明を終わります。

【男性】 今、西衣山まで下水道が来てるんですが、過去に市へ問い合わせたら、ちょうど愛光学園のそば、南江戸のほうまで下水道が来とんですけど、これはちょっと難しいと言われてまして、10年ほどしたら三津のほうへということで、10年過ぎてもう20年近くなりよんですけども、でせっかく衣山駅まで来てるのをもしよければ衣山五丁目、今800世帯くらい入ってます、できるだけ早く下水道整備をお願いできたらということで常々思っております。

【市民部長】 正直申しましてまことに申し訳ございません。中央処理区の下水道整備はほとんど進んでいるんですけど、今残っているのが西部処理区の方の下水が残っております。それはどうしても下流部からだんだんだんだんやっていくものですから、特に三丁目、四丁目、五丁目と行ってちょうど高いところになるとどうしても遅くなるものですが申し訳ございません。これ事前に話伺っておりましたので担当部に聞いておりますとやはり事業計画区域になってない地域については、具体的に今整備年次はお示しすることはできませんが、できるだけ早く希望にこたえられるようにということで答えてほしいと承っておりますので、申し訳ございませんが、改めて計画できた段階でお示しさせていただきたいと思っております。なお、きちんと持ち帰りまして具体的にいつごろかっていうのはできるだけご説明させていただきたいと思っております。

【市長】 はい、これ市全体の下水道計画にも関わるものですので私からご説明をさせていただきます。まず平成一桁のとき。このときは国のほうが景気対策ということで下水道積極的に進めようということをしたんですね。でこのときに総額で松山市で2,000億円もの集中的な投資をしたんです。積極的に松山市で下水道を進めたという経緯があります。下水道普及率がそのとき33パーセント

から52パーセントに一気によくなったんですけども、国の景気対策に従ってやったものですから1,200億円を超えるような借入を行っております。松山市にとってはあまりにも負担が大きすぎるということで2度にわたる下水道の計画の見直しをしております。例えば平成6年には年間160億円をかけて松山市全体に下水道を整備していこうということをしてたんですけども、負担が大きすぎると。下水道ばかり仕事するわけにはいかんですから平成12年にはその160億円というのを年間半分80億円程度に縮小しました。そしてこれもまだきついということで平成19年には年間80億円の規模を65億円規模に縮小したんです。そういうこともあってなかなか下水道が進んでないという現状でございます。今、下水道料金の値上げをとということが出てきている、耳にされていると思うんですけども、これをこのままに放置してしまうと金利負担が大きくなるので将来の世代にまたツケを先送りしてしまうことになるので、もちろん松山市役所のほうでもこれまでも経費削減やってきたんですけど、より一層努力をさせていただいて値上げをさせていただきたいという形になると思います。平成一桁代の国の経済対策に従って積極的に進めたので借り入れが膨れてしまってそのツケが来ているというところでございます。これからは過度な投資にならないように下水道と合併処理浄化槽のこの2本柱でやっていきたいと思っております。

【男性】 実は今、松山駅の構想をお聞きして、なんか言いにくいなと思いがら申し上げるんですけども、伊予鉄西衣山駅とJR予讃線が交差する、先ほど写真が出ておりましたが、そこにJR衣山駅、私は学園前駅にしてほしいなと思ってるんですけど、を設置していただきたいというお願いです。この件は平成16年10月に県と市に対して要望が出されておまして、平成17年に回答をいただいております。最後の結論の部分だけ申し上げますと、衣山地域の大規模な公的施設の設置など今後状況が変化すれば再検討するという結論をいただいております。新駅設置の技術的問題については、松山駅付近の改良工事が終わりましたので技術的には可能だと私は聞いております。まず一番の理由は、公共交通機関利便性の向上はやはり県民、市民の願いだということで、伊予鉄西衣山駅を経由して県病院、愛大附属病院、国立がんセンターその他の松山中心部への通院、またショッピング等への利便性が大いに高まる。特に北条の松山市民にとっては非常に利便性が高いのではないかと。それから高浜港、松山観光港への

アクセスも非常に便利になって松山市民や愛媛県民の交通機関利用に大いに役立つということだと思いますが、私が今日来た理由は次の理由です。愛光学園にはJRを利用して通学する生徒が150名おります。新田青雲中等教育学校にも50名ほどの生徒が在籍しております、JR衣山駅の設置によって時間と費用において通学の利便性が大きく増大するということです。愛光学園は全国区の学校でございますので、新居浜、宇和島などから特急列車を利用して通学する生徒がたくさんおります。100名くらいの生徒が特急列車を利用しておりますが、通学に要する時間が2時間になる。さらにスクールバスを利用するので年間7万円くらいの費用を負担しなくてはならない。通学時間の短縮によって生徒たちの家庭学習の時間を確保できる。今後もより多くの児童、生徒にJRでの通学手段を提供できると。一人でも多くのより優秀な生徒を育成するために駅の新設によって通学の時間短縮と交通費軽減を図っていただきたいと思っております。愛光学園と新田学園だけではですね大規模な公的施設とは言えないと思っております。あの遊休地の土地の所有者をどなたが知りませんが、あの遊休地を最大限に活用すればそういう施設もできるのではないかと期待はしております。いずれにしても人材育成という点では、はかり知れない大きな施設、愛光学園と新田学園はそうだと自負しております。ぜひ松山駅構想はもちろん進めていただきたいんですが、はるかに少ない経費でできるのではないかと思います。よろしくお願ひしたいということです。

【市長】 ちょっとお伺いをしたいんですが、今愛光学園さんにJRで来てる子は三津浜でおりるんですか、松山駅でおりるんですか。松山駅からどうやって来るんですか。スクールバスが出てるんですか。

【男性】 すいません。特急列車が三津浜駅にとまりませんので松山駅まで行って松山駅にスクールバスが行ってそれを迎えるという形です。

【都市政策課長】 今ご説明されましたように平成17年そういう形でご回答はさせていただいている中で、今回このタウンミーティングに際しましてJR四国にも確認を行いました。それでJRさんいわくは、やはり設備の整備や維持管理に対する費用を考慮するとJR単独では非常に難しいという考えでございます。ただ全国的には地方自治体とか関係団体が一体となって新駅の設置という事例もございます。また新駅設置等につきましてはやはり行政といいますか市なり関係

者の皆様からの前向きなご意見がいただけるのであればJRさんもお話はお聞きしましょうというところがございます。ただ先ほど説明しましたように、現在松山市ではやはりJRの鉄道高架、また合わせて路面電車の延伸等に力を入れているところがございますので、今現在では新駅の設置については非常に難しいという状況でございますのでよろしくお願いたします。

【市長】 はい、そうですね。私から今財政に関わる話が出ましたので、松山市の財政のことについてお話をさせていただこうと思います。松山市の1年に入ってくるほうを歳入、出ていくほうを歳出と申します。円グラフを書くと一番よくわかるのですが、松山市だけで1年間だけで歳出一番大きなウエイトを占めるお金が民生費といいます。これが大体40パーセントを占めています。ほかにも土木費とかいろいろあるんですけども、民生費というのはいわゆる福祉にかかるお金です。が一番大きなウエイトを占めます。民生費が今どれだけ1年間で増えるのかというと50億円増えてるんですね。皆さんがよく耳にされる生活保護費、これあの生活が困窮してる方には重要なお金なんですけども、松山市だけで1年だけで生活保護費がどれだけ増えたかというと決算ベースで15億円増えたんです。皆さんニュースなどで耳にされるとと思いますが、国においては1,000兆円の借金を抱えていると言われております。日本の人口が1億人、ですから1,000兆円割る1億人をすると一人頭どれくらいの借金かということがわかるかと思うんですが、1,000兆円まで借金来るまでに誰かとめる人がおらんかったんかと思うくらいあきれるような数字です。国から地方には地方交付税交付金とか国庫支出金という形でお金が回ってくる。ですけれども大元の国が1000兆円という借金を抱えていたら、地方に回ってくるお金がこれから増えるとはちょっと考えにくい。福祉にかかるお金が50億増えたならばどこかで50億絞らないと、財政のバランスは悪くなってしまいます。国から回ってくるお金が増えるとは思えない中で生活保護費が15億円増えたならば、どこかで15億円削らないと財政のバランスは悪くなる一方です。こうやってタウンミーティングしてまして皆さんからいろんなご要望をいただきます。これはあんまり財政のことは気にしないで要望といいますか言っていただきたいんですけども、市長の人気取りから考えたら皆さんが「これやって、あれやって、それやって市長」って言われたら、「わかりましたそれやりましょう」って言ったほうが、市長の人気取りから

考えるとそっちのほうが楽です。でもそれをやってしまうと将来の子どもや孫の世代にツケを残して、はいさようならということになってしまうんですね。ですから今の財政状況を考えると、今松山市だけじゃなくてどこの地方自治体もそうですけども、こういう現状なんです。ですから皆さんの「じゃあ何でタウンミーティング来るんぞって」言うたら、これは皆さんの声を聞かせていただくためです。声を聞かせていただいて今松山市としては何を一番にやらないかなのか、どの順番でやらないかなのか、優先順位、皆さんから声をいただいて何にも聞かかんかったらやっぱ優先順位間違ってしまうと思います。そうじゃなくて皆さんの声をいただいて、何を松山市役所はすべきなのかっていう参考にもさせてもらいたいので、このように来させていただいております。もちろんできることからやらなければならないことはやりますけれども、このような現状であるのでなかなかいいお返事ができないという状況です。これ言うとか何か手が挙がりにくくなってしまいうんですけど、皆さんから声をいただかないと間違ってしまうので、いろいろ困っていることは言っていたらと思います。こういう現状です。

【男性】 実は先ほど市長のほうからも言われてましたですけど、味酒校区って非常に恵まれてるので1つだけ絞って言いますと、分譲マンションが非常に多くなっております。その分譲マンションのおかげで味酒小学校も松山一ですか児童数が。そんな中で今萱町六丁目がどんな状況になってるかっていうの、市長が住んでらっしゃったところももう分譲地になってるし、西側も分譲マンションになっております。私が心配してるのは、萱町六丁目です。今ファミリータイプの分が202世帯です。町内会に加入されてないんです、一件も。議事録を見ますと八坂校区の方がマンションのこと言われてまして、自治会の加入は市として行政としてできませんということなんですけど、私が一番懸念しているのは自主防災の会長もしております。自主防災の部分ではその202世帯には一切誰が住んでるか、自主防災会の訓練もやってますけども一切ご案内も差し上げてない。それはなぜか、町内会に入っていないからなんです。だから行政として自治会の加入はできませんではなくて、自主防災会松山市に100パーセントできましたって消防の方も言われてました。実はふたをあけると萱町六丁目の場合は202世帯の方は未加入なんです。何かが起こったときにさあどうするの202世帯の方。情報いっちゃんありませんよ。民生委員とか特定の方は当然情報をお持ちでございます。

自治会には行政として協力はできないけども、自主防災の分だとどうなのという質問でございます。

【市民部長】 大変切実な問題であるということはよく承知しております。特に町内会の加入率が低下するとどうい問題があるかということ、まず安全安心。それから環境もそうですし、今まで組織で対応しよったのが少しずつ加入率が低下してくると組織としての力がなくなってくるという問題で、特にまた自主防災になりますと組織率というのでやっぱり面識社会、顔見知りだから助けてあげるといことができますんで、本当に困っているっていうことはよくわかります。最近、市民部にも町内会がないんだけどどうしたらいいんだろうかという相談がよくあります。特に問題が多いのは賃貸マンション、アパートの多いところ。全体的な影響になっております。昔は町内会の加入率というのは90パーセント超えておったんですけど最近80パーセント前後に下がっております。その対応策として開発団地とか新しい新築マンションができますといわゆる土地に根づいてない人がどっと入ってきたときに、最初に地元の人との関係を失敗するとそのままなかなか町内会に入りにくいという現状があると思います。そこで我々がよくアドバイスさせていただくのは、まず地域の方の町連とか広報委員長さん方に一回結成について相談してみたらどうでしょうかとご案内させていただいております。それでも町内会のほうが核となって役員をする人がいないとなかなか難しいんですね。じゃあそれが無い場合はせめて町内報とかそういうもんでも回していただいて、少しでも町内会が何してるんかということを知っていただくということが一番大事なのかなということをお願いしております。

【男性】 市民部長は現実をよくおわかりになってないんだろうと思うんですけども、分譲マンションの場合は管理組合がございませう。管理組合にはいろんな考え方の区分所有者の方がいらっしやいます。一度加入しても理事会総会で決議して、もう町内会から離れますよっていう例もあるんです。だから現実としては新築、最近できた場合はみんなが情報交換してますから広報委員も初めにその規約の中に管理規約の中にそれを入れて町内会加入を強制することはできるんですが、今202世帯の分はもう15年以上のマンション。当時の広報委員、町内会長は、どちらかというによそもんだから入れないということだったんですね。だからそういうところが味酒の中で結構私は多いと思うんです。私はもう萱町六丁目のこ

としかわかりませんが、お隣の五丁目の分でも100世帯が一時入ってたけど途中で加入をとめられた。だからうちと隣の部分と両方、萱町五丁目も私自主防災会の会長入ってますが、両方入れると300ちょっとになります。それはもう一切入ってない。これは何らかの形で、何か手を打たないと、先ほども言いましたけど松山市自主防災100パーセントじゃないんですよ。その部分だけよくご理解していただけたらと思います。

【市長】 はい、四国市長会がありまして、そこで防災システム研究所の山村武彦さんって、結構テレビとか出られてる方なので御存じの方多いと思いますけれど、今、「自助」「共助」「公助」っていうことをよく言うんですけど、もう1つ「近助」、近くが助けるっていう考え方も大事じゃないでしょうかという話を言われて、ああ確かになって思ったんですけど、町内会って任意団体なんですよね。入りたくないって方には強制はできないんです。でもそういうつながりがないと、防犯とか介護とか子育てとかいろんな面でマイナスですので、思いは一緒だと思うんです。ちょっと研究をさせていただきたいと思いますので、持ち帰らせていただけたらと思います。

【男性】 今ちょうど町内会の広報委員制度が終わりに近い状態、まちづくり協議会とか町内会連合会という、私は一番今チャンスとっております。そのあたり行政として協力できることを、松山市からこういうような部分が来たよと、理事長宛てにでも言っていただければすごく話がしやすいのかなと思います。

【市民部長】 そういった方向で説明会も回っておりますので、できる限りのことをさせていただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

【男性】 1つ質問ですが、非常に身近な問題で、先日も広報委員のほうでお話があったと思いますけども、ごみの問題ですよ。これは、本当皆さん大変なさつとんですよ。広報委員の方、町内会長の方、私商売しよりますから朝早くからよく通りますけど、ごみ出して掃除しよる。本当にああいうことはなんとかできるのかなということで、私もいろいろ考えました。どうして各個人の家の前に出さるのかな、家の前に出しとったら違反したらその家の人違反しとるということがすぐわかる。問題は家の前に出すにしても奥まったところにある家の方は、道路までは出してもらわなかったら集めるのが大変ですので道路までは出すと。そのときには先ほどの近所付き合いではないですけど、グループをつくって出すと

いうふうなことをしていただきたい。マンションが全部悪いとは私言いません、マンションのごみ置き場が一番問題ではないかな。またマンションの人間が出すのが一番問題があるんじゃないかなと思います。マンションはマンションで別に集めていただく。お金も先ほど市長が歳出のこと言われましたけど、お金は確かに要ると思いますけども、お金を出してでも松山のまちをきれいにしようと思ったら、そのくらいのことせなんだら絶対にこれは直りません。思い切ってお金をつぎ込んででもごみの問題、これはどうしてもやってもらわなだらいけないんじゃないかなと私は思います。もう1つは公共事業の問題です。ちょうどこないだ店の前を下水道管の工事をしました。工事をするにしましても入札制度とかいろいろあるかとは思いますが、地域の業者に優先的にやらしてもらえたら、家の中が入りにくいか、駐車場に入れんとかいう問題でも、地域のつながりじゃということであまくいくんじゃないかなと。工事の前に100円か200円のもの持って歩かんでも何ぼかいいのではないかなと思うんですよ。地域におる方にやらず、地域の方がようやらなだらその人が友達に言うというふうにやらずことによって、苦情も出ない、うまく私はいくと思います

【市長】 地域のことは地域で、工事のことなんですけども、例えば東京や大阪の工事会社さん、建築会社さん。専門技術持ってないとだめだっていう工事はそういう方がとるような形になると思いますけども、私からも指示を出しております。地元でできることはできる限り地元でもらいなさいという指示は出しております。東京や大阪の建築会社さんもいいんですけど、そういう専門知識が必要なものはね、でもそれって東京や大阪にお金がすつと行くようなものなので同じ思いです、地元でできるものは地元で。

【市民部長】 今日、環境の担当はおりませんが、提案のご趣旨はきちんと持ち帰ってお答えしますが、私が答えられる部分をお答えさせていただきます。たぶん言われんとすることは、ごみの分類ができてないんで、持って帰ってもらえんとか、犬とか猫とかが食い散らかしてわやになるとかそういうことだと思わすけれど、これは松山市全体でこういった相談をされております。まず収集については効率的に集めるということでごみステーションを設置しておるとというのが現実です。マンションにつきましても大きなマンションですとそこだけでごみステーションつくっとなんですけども、小さなマンションになるとどっかのところに

持っていってもらおうという、効率の問題なんですけれども、確におっしゃられる通りルールを守らせるという観点からいくと提案も切実だと思いますので、持ち帰らせていただきまして後ほど回答させていただきたいと思います。それからごみ出しルールについてはやはり町内会のほうで役員の方本当に大変だと思いますが、私も個人的な経験でやっておりますけども、人に代わって分類しなおすというのは本当に大変なことだと思いますので、そのあたりの現状もきちんと所管課のほうに伝えて、いい方法なんかないかということをおきのときにきちんと回答させていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

【市長】 マンションの管理組合に行ったり、やっぱり学生さんのマナーが悪いのでその時期には学校に行っておみ出しマナーを徹底するとかやってるんですけども、なかなか遅々として進まないということがありますので、持ち帰らせていただいたらと思います。

【男性】 私たち今取り組んでおります青少年健全育成についてご相談をしたいと思います。私たちは今年6月に味酒西青少年健全育成連絡会を立ち上げました。なぜ味酒西にしたと申しますと、昭和62年に勝山中学校と雄新中学校の生徒の増加に伴い、城西中学校が設立されました。味酒小学校を卒業された方は味酒小学校を中心とし、東側は勝山中学校へ、味酒小学校から道路を隔てて西側の町については、城西中学校へ通われております。そういうことから育成については、大体中学生を対象とした活動ですので、とりあえずは味酒西で、おいおい西をのけて活動をしてもいいんじゃないかということで設立をいたしました。発足のきっかけとなりましたのは、今から約1年半前からですね、味酒西地区において青少年の飲酒、喫煙、火遊び、公園等の落書きということが非常に目立つようになりました。そういうことから今年の4月にかけて、学校関係者、民生委員の方、また児童委員の方、駅前交番の署員の方、いろいろな方にお集まりをいただきまして、2度3度と協議を重ねました結果、まず自分たちのことは自分たちの地域でやって、温かく青少年を見守っていこうという思いから、連絡会が結成されたわけです。さっそく7月から夏休みが始まりますが、各地区の計画において自主的にパトロールをし、また東警察署の生活安全課に協力を要請いたしまして、深夜徘徊の子どもたちの見回りも現在しているところでもあります。これからも急ぐことなく子どもたちの見回りを続けながら、活動をしていくように心がけ

ているところですが、そこで行政にお願いがあるわけです。行政が作りましたこういった活動については、団体に保険とか活動の際に事故の保険とかいろいろな補助があるようですが、こういった自主的に立ち上げた活動に対しても助成制度をつくっていただきたいとお願いをし、私の質問とさせていただきます。

【生涯学習政策課長】 日ごろ活動をしていただいているということを担当している教育支援センターから話を伺っております。また、城西中学校からも非常に地域に対して感謝しているということをお伺いしておりますので、この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。そういった活動をされる上で、確かにおっしゃられたように行政が委嘱をしている団体に対しては、支援とか貸与といったことをしておるんですけれど、現在のところ自主的な活動をされている団体に対する支援の制度はないわけなんですけれど、活動をされている方に対する思いはわかりますので、そういう思いがあるということは持ち帰り伝えた上で、何かいい方法がないか検討させていただき、回答させていただきたいと思っております。

【市長】 最近市民の方から通報をいただいたのが、南江戸公園がたまり場になっているのを聞きましたのでやり方を変えました。皆さん御存じのように下水処理場の上のできた公園ですので、景観面や周辺に対する防犯面から午後10時まで点灯していたんですけど、それが原因になってもいけませんので閉園時間にあわせて消灯することにいたしました。ですので10月から3月までの間は午後5時に消灯ということにさせていただきました。公園内の巡回を定時に行っていたんですけど、青少年が警備員の巡回の時間を知ってて、という情報もありますので、時間帯をランダムにずらして巡回するようにいたしました。また駐輪場の看板がはがれてましたので、耐久性に優れた看板に改めたところです。このようにできることからすぐに対応させていただきたいと思っておりますので、南江戸公園は収まるかなと思っているんですけれど、また危ないなということがありましたら、無理はしていただきたくないの、警察とも連携をしながらやっていきたいと思っておりますので、また言っていただいたらと思っております。よろしくお願ひします。

【女性】 以前から松山駅周辺の説明会には参加させていただいてたんですが、道路とかいうのは今日説明ありましたが、JRの建物とかJRの前、以前にもありましたように国体がもうそこに来てます。そのときに来た方が、「すばらしいな、お城はきれいけど建物汚いな。松山って、こんなに公園がきれくても端が汚

い」という印象受けられては困るので、そここのところは国体までに何とか目張りしていただいて、私も娘が運動してあちこち行ってましたので見てましたけど、本当松山駅が一番貧相な感じがします。今度の国体までには何とかしますっていうことでしたので、それを実現していただけたらと思います。

【松山駅周辺整備課長】 はい、本当に申し訳なく思っております。えひめ国体、平成29年、愛媛県単独で国体が開催されるというのが決定しております。鉄道高架事業と区画整理事業、これはもう一体で整備しないといけないんですけど、平成32年度ということで実は間に合わないということで、これは今市長から言ったようになんとか平成29年というのを目標にしてきたわけですが、やはり鉄道高架事業の事業スケジュールというものもございます。そういったことで今愛媛県が言っているのは、当然愛媛国体のときはたくさんのお客様がいらっしゃいます。駅の東側にJR貨物駅がございまして、駅のすぐ南なんですけれど、JR貨物駅と車両基地は伊予市と松前町のほうへ鉄道高架に伴って移転をします。そういったことで29年の整備には間に合わないんですが、基地を移転させた上で、今のJR貨物駅のところをバスの発着場、あるいはイベント広場として活用したいということで愛媛県が今一番取り組んでいるのは、早く基地の移転を行いたいということで取り組んでおります。JR松山駅の駅舎あるいは駅ビルについては事業主体はJR四国になります。松山市としては、四国で一番大きな都市ですので、立派な駅ビルにしてもらいたいということでお話をさせていただいております。

【男性】 市長さんが公約というかマニフェストといいますか、子宮頸がんのワクチンの無料化、待機児童をゼロにする、この2つは公約に掲げていただいたと記憶をしておりますが、その経過を教えてください、どのようになっているのか。それと堀之内の水をきれいにならんのかなど。非常に汚い、前にも何かやったんですけども、お金の入れ方が悪いんじゃないかと思うんですけども、堀之内の水をきれいにしたら、もう1つ松山市が生きるんじゃないかと思います。それと堀之内の中に時計が1個もないということで、時計を1つでも置いておいていただけたら市民の方が喜ぶんじゃないかと思うんです。

【市長】 はい、まず公約のことからですがけれども、子宮頸がん等三種ワクチン接種事業はすでにできるようになっております。私が就任してから半年くらいの

ときにはもうできるようになりました。待機児童ゼロは、待機児童の数のカウントの仕方が2通りありまして、「私はここの保育所じゃないと嫌だ」っていう人もいますよね。それをカウントするのかカウントしないのかっていうのがあります。確か愛媛県20市町の中で待機児童がいるのは松山市だけです。やっぱり特殊性、松山子どもが多いっていうところもあります。これから少子高齢化で、子どもの数が減っていく中で、どれくらいの規模の保育所をつくるべきなのかといったところもあります。でもできるだけ待機児童は少なくしていきたいと思っておりますので、これは就任以来指示を出しておりますし、大街道にまちなか市民交流センターつくったんですけれども、あれも待機児童を少なくするためにつくったものです。もうずっと指示は出し続けておりますので、待機児童ができるだけ少なくなるようにしていきたいと思っております。時計のことは、ほかのところでも堀之内に時計をとられたこともありますので、検討課題として持ち帰らせてください。そしてお堀の水のことですけれども、これは、こういったやり方でやってきましたというのをご説明させていただきます。研究会を立ち上げまして、愛媛大学と松山市で共同研究をしましてまいりました。なぜ汚れているのかといいますと、お堀の水は上流からいいますと、石手川の岩堰のところから分かれて持田あたりを流れてお堀に流れてきて、下流域の農業用水として利用されております。なぜ汚れるかという途中です。汚水が入ってくる、そして今コンクリートとかアスファルトだけになってますと、最初に雨が降ったときの水が一番汚いんですね、それが入ってくる。それを防ぐために城山公園、堀之内のところは芝生にしました。あれをすると雨が降ると水が地面に浸透するので、アスファルトやコンクリートを流れて汚い水が入ってくるのが避けられるので、水がしみていくので、芝生化をしたという経緯もあります。そして今なくなってしまいましたけど市営プールのところに井戸があるんですけれども、その井戸水を堀に入れるようにしております。NHKのところに行く道がありますけれども、あれ昔は橋じゃなかったんですけれども、今、橋にして水が行き来するようにしております。そういうことをしましたから、今、夏の時期は水温が高くて汚れやすいんですけど、冬の時期はお堀の底や魚が見れるように、以前よりかは大分きれいになってまいりました。まだまだ抜本的に変わったかとは言えない段階ですので、これからは、私も県外に出かけて「松山いいところですから来てください」って言って

る立場なんで、お堀は汚いよりはきれいなほうが絶対いいです。できる限りきれいにしていきたいと考えております。できればなんですけど、大洲の夜のう飼いがありますけど、最近昼う飼いというのができました。お堀が残っているのは松山の宝だと思います。昼のう飼い、やっぱり船に乗ると風を感じます。そしてすごくゆったりとします。そして船に乗って例えばお堀なんか行きますと視点が変わりますよね、非日常を感じる事ができる。そういう船を浮かべることができればそんなよさもあるかな。でもちょっと今NHKのところの橋が非常に低いのでくぐるわけにいかないの、たちまち船を導入するわけにはいかない。でも和船なんかをあそこに浮かべることができたらいいだろうなんて思ってます。また水鏡なんていう言い方しますが、お堀にキャンドルなんか浮かべたら水に写りますから2倍の効果が出ますね、ですのでキャンドルを使って何かできないかななんてことも考えているところです。お堀があるのは宝ですので水質浄化もこれからもやっていきたいと思えます。

【女性】 城山公園ですけど、私も週に3回か4回行くんですけど、夕方になると高校生、大学生がバットを持ってボールすごくしてるんです。県外から来られた方なんか特に、「ここいいなあ、東京なんかでもこんな広場なんかない」言うところにボールがぽんと飛んできたりするんですよ。以前はバットは振ってはいけないということで巡回してた方がいらしたんですけど、最近はその方もおられません。本当にたくさんの方が、高校生も自転車でもどこへでも置いて、バットを振ってキャッチボールをして野球してます。あれ、事故が起きたらだれがどう責任取るんですかわかりませんが、バットを使ってはいけないというどこにも書いてません、スパイクでこの中に入っははいけませんということだけです。私もよっぽど電話しようかなと思うんですけど、そこまですることもないし、高校生や大学生に、ここバットだめよって言って反対にたたかれたら何にもなりませんから、私もよう言いません。市のほうもそのところを検討していただいて、本当に安心してみんなが散歩できる公園にしていいただけたらと思えます。

【都市政策課長】 今おっしゃられましたとおり、堀之内のふれあい広場におきましては、バットを使わない、固いボールを使わない、また、スパイクを履いての利用はしないとかの決まりはございます。ただ、今おっしゃられました通り、表示がないということでしたので、また、確認させていただいて、対応させてい

ただきたいと思います。

【市長】 なかなか言いにくいと思いますので、逆に殴られたらどうしよう、確かにそうだと思うので、確か、公園パトロールしてるんですよ。

【女性】 最近あまりしておられません。

【市長】 直接は言いにくいと思うので、例えば、市役所のある課に言ってもらったらパトロールの者が対処するとか、そういうやり方ができたらと思いますので、持ち帰らせていただいてまた、返事をさせていただきます。

【男性】 味酒校区については、市民参画まちづくり課より連合会であるとか、まちづくり協議会をつくるという提案はあるんですけど、平成15年あたりから、取り組んでこられたと思いますが、今現在の進捗状況と、あちこちの町内会長さんにお伺いすると、あまりこの制度はうまくいってないというような声も相当あるわけですが、今後の取り組みについて、これから私たちもそういう方向に向けて話し合いをしていくようになるろうと思いますので、これから何がいいこと悪いとこということを広報委員でいろいろと議論させていただいておりますが、一般の方もお見えになっておりますので、これからどういうふうに取り組んでいくかということをご説明していただいたらと思います。

【市民部長】 この件については全部説明すると長くなりますので、端的に今の進捗状況ということで、まちづくり協議会というのは、わがまちを愛してその地域を活性化するということが一番の目的です。地域の振興と住みやすさの向上、そういった部分で始まったところ今、まちづくり協議会10の地域と2つの準備会があります。それから準備会の設立に向けて研究取り組みしてるところが数地区ございます。今言った、うまくいってないというところは、立ち上げたときに、まちづくり計画つくったりするときに、非常に議論があるとか、公民館との関係とか、地域によって温度差があるところ、そういうところ言ってるんじゃないかと思いますが、少なくともまち協が立ち上がったところは行政と協働でいろんな問題が検討できます。窓口が一本化して、いろいろな問題をまちづくり協議会と市民参画まちづくり課で同じ窓口でやるといったことはやっておりますので、非常に有効に進んでおるという認識でおりますので、また個別の話については時間かかりますので、またご相談に乗りたいと思いますので、よろしく願います。

【市長】 ご存じでない方もいらっしゃると思いますので、短く言うと、まちづくり協議会という組織があります。今、松山市41地区の中で10地区でできました。2つの準備会ができています。この近くでいうと潮見とか八坂、雄郡にあります。こういうまちづくり協議会といういい組織ができれば、まちづくりの財源と権限をお渡ししましょうという組織がまちづくり協議会です。民主的な組織ができていたらということになりますけれど、まちづくり計画を提出していただいて、そこに財源と権限をというものでございます。

【男性】 味酒のいろんな魅力が出ましたが、味酒の宝たくさんあるんですが、味酒の子どもたちが一番の宝じゃないかと思っております。大変小さなことですが、大切なお願いを1つさせていただきたいと思っております。味酒小学校の正門の前に歩道橋がございまして。おそらく県で一番最初にできた歩道橋だといわれているんですが、その歩道橋をおりたら、歩道、車歩道に出ます。その車歩道を横断して味酒小学校の子どもたち、950名中おそらく700名以上の子どもたちが毎日正門に入ってまいります。以前は大変安全な歩道、歩道橋であったと思いますが、今は子どもたちが登校するときその歩道たくさんの自転車、通勤通学の自転車が通ります。車も大変危険なんです、自転車との接触が起こらないように毎朝大変な苦勞をしております。県と市のほうタイアップして通学路の総点検を先日していただいたと思うんですが、そのときの途中経過、回答で、松山市のほうは現在調整中というお答えいただきました。歩道橋は県道にかかっておりますので、県の歩道橋になると思います。県の回答は不可ということで返ってきました。せっかく松山市のほうで一生懸命調整していただいているんですけど県の方が不可となると、私たち非常に困っております。県のほうと交渉していただいて、歩道橋をもう一本階段を校内のほうにおろしていただいて、子どもたちが安全に学校から歩道橋通って下校できる登校できる、そういうお願いをしているところでございます。ぜひとも県のほうと交渉していただいて、実現できるようにお願いします。

【生涯学習政策課長】 失礼します、教育委員会ですが、先ほどおっしゃられたことは、夏の一斉点検のときに一番に挙げたこととございます。おっしゃられたように県道に面した歩道橋ですので、県の所管ということになるんですが、今回の点検は、どこがどこかというのではなく、お互いに知恵を出し合ってやろう

ということで、私どもが認識している回答若干ずれがあるんですけど、私どもが今認識している、つかんでいる部分では、県としては市の施工で歩道橋を中のほうに入れるということに対して、教育委員会としてはいいですよと、工事を行うということで前向きな方向に進んでいるように私たちは伺っておりますが、誤った回答であってもいけませんので、帰りまして、最終的にこのタウンミーティングの回答を返す中で、お答えできる部分はちゃんとお答えしたいと思います、前向きにいい方向でできるというふうには伺っております。

【市長】 味酒の前は湯山のタウンミーティングでした。皆さん御存じのように湯の山ニュータウンというのがございまして、確か500人ぐらいお子さんがいらっしゃるそうです。湯の山ハイツからエレベーターでおりてきて、その前の道が小野3号線という小野につながる道ができたので非常に車が増えたということでちょっと危ないところがあるんじゃないけど市長さんということでいわれたので、金曜日にタウンミーティングがあって、日曜日に湯山の体育祭にたまたま行ってきたので、月曜日にその危ないと言われているところに行ってきました。実はあそこは県道です。でも、松山市の小学生、中学生、高校生たちの命を守るというスタンスで行ってまいりました。やっぱり現場に行くと危ないところあります。歩道は確保されてるんですけど、自転車道が確保されてないので、ちょっとスペースがないところがある。草が茂ってるので、草をかわそうと思うとどうしても車道のほうに出てしまう。右折信号がまだできてないので、側道に入ろうとする車がいるので、狭いところに車が入ってきて高校生たちとかが危ないという現場を見てきましたので、県道ではありますけど、皆さんわからないじゃないですか、ここが国道で、ここが県道で、ここが市道なんてわからないじゃないですか。市役所に言っていただいたら県のほうに言いますし、国のほうにも言いますし、それは言っていただいたらと思います。もし、職員のほうでそれは県のほうに言ってください、すごく冷たい対応したことがあれば、市長へのメール制度もありますので、言っていただいたら厳しく指導しますので、言っていただいたらと思います。確かに要望事項というのは、縦割り行政とかいうのではなくて、要望した場合、えらい話が大きくなっちゃって、「いやいやそんな大きいことまでせんでいいんよ、こうしてくれたらいいだけなんよ」という話が、ものすごい話が大きくなっちゃって、「それできません」ということがあるので、確かに直接言ってい

ただいたほうが解決しやすいという部分があります。でも行っていただいたら、例えば県のことだったら県のほうにこちらから言いますし、国のほうにも言いますし、あわせて皆さんのほうから言っていただくと話が通りやすいのかなと思っております。最後になりますけど、市役所という言葉がありますけど、就任して2年というところになるんですけど、市民の皆さんの役に立つところでなければならないと思っております。皆さんとの距離をますます縮めていきたいと思っております。その思いでこのタウンミーティングに来ておりますので、行政ってよくわからんよねっていうところがあるかもしれませんが、言わないよりは言っていただいたらできることもありますので、市役所と上手に付き合っていたらと思います。最後に、やっぱり言えなかったという方もいらっしゃると思いますので、市長への直接のメール制度ですとか、はがきとか封書でといういうことでも結構ですので、言っていただいたらと思います。ちょっと長くなりましたけれど、よい味酒、よいふるさと、よい松山をつくっていければと思っております。どうぞこれからもよろしく申し上げます。ありがとうございました。

— 了 —